

プラスチック一括回収の 実証実験について

実証実験の対象地区・期間

- 対象地区 成美地区、二塚地区の2地区のみ
- 対象期間 令和5年9月、10月の2か月間のみ
(各地区4回の不燃物収集日が対象)

成美地区、二塚地区の皆様にご お願いすること

- 「プラスチック容器」と「高分子系ごみ」を
同じ袋に入れてまとめて捨てること
- 3種類の袋の使い勝手を試していただく

プラスチック資源類

プラスチック容器  このマークがついているもの



ボトル類
トレー・パック類
フィルム類
ペットボトルのキャップ、ラベル
カップ類
ネット類
キャップ類
繊維材
袋類

水洗いして
フタは外して

●白色トレーは、なるべくスーパーなどの店頭回収をご利用ください。



高分子系ごみ ~~(大きさ1m以内に限る)~~



クリーニングの袋
持ち運び用の発泡スチロール
バケツ
洗面器
食用油のプラスチックボトル
ビニール波板・雨どい
プラスチック製おもちゃ
プラスチック製ハンガー
PPバンド
歯ブラシ
ストロー
CD、DVD、Blu-rayディスク、ビデオ、カセットテープ及びケース
スキー靴
プラスチック製スーツケース

配付した袋について

- 袋がなくなったら
 - ・ 9月、10月の2か月間は、各ご家庭で用意した袋（透明または半透明で45リットル以上の袋）と一緒にに入れて捨ててOK
 - ・ 追加配付はなし
- 袋が余ったら
 - ・ 返却する必要はなし

実証実験は2か月間のみ

1 1月からは通常の分別に戻ります

- 2か月間の実験結果を踏まえて、本格実施に向けた検討・改善を行う
- 10月の2回目の不燃物収集が終わったら、「プラスチック容器」と「高分子系ごみ」の分別に戻ることにご注意ください

組成分析とは

- 袋の中身のサンプル調査
- 収集した袋から無作為に選んだ一部の袋を開けて中身を確認
- 入れてはいけない「禁忌品」の有無を調査

禁忌品とは

- 見た目はプラスチックが使われているが、プラスチック資源類に入れてはいけないもの

禁忌品の例

- 加熱式タバコ
⇒ 金属類・家電品類へ
- ライター
⇒ 有害ごみ
- モバイルバッテリー
⇒ 購入先または業者に相談・回収依頼を

プラスチック一括回収の目的

- ① 市民の利便性の向上
- ② 効率的で持続可能な処理体制の構築
- ③ 資源化率の向上、環境負荷の低減

①市民の利便性の向上

- 「プラスチック容器」と「高分子系ごみ」をまとめて捨てることができるようになれば、分別する必要がなくなる
- 法整備や技術の進歩により一括回収可能に

②効率的で持続可能な処理体制の構築

- プラスチック製廃棄物処理の現状
「プラスチック容器」と「高分子系ごみ」の
収集・運搬や中間処理はそれぞれ別々の工程を
たどる
- 一括回収で期待されること
収集・運搬の回数の削減、スケールメリットを生
かした効率的な中間処理の実現

③資源化率の向上、環境負荷の低減

- 「燃やせるごみ」を新たな資源へ
「プラスチックは、さっと洗ってプラスチック資源類に」
- 環境にやさしい取り組み
 - ・ 二酸化炭素排出量の削減
 - ・ 燃やせるごみ焼却後に残る灰の削減
 - ・ プラからプラへのリサイクルで石油資源の節約